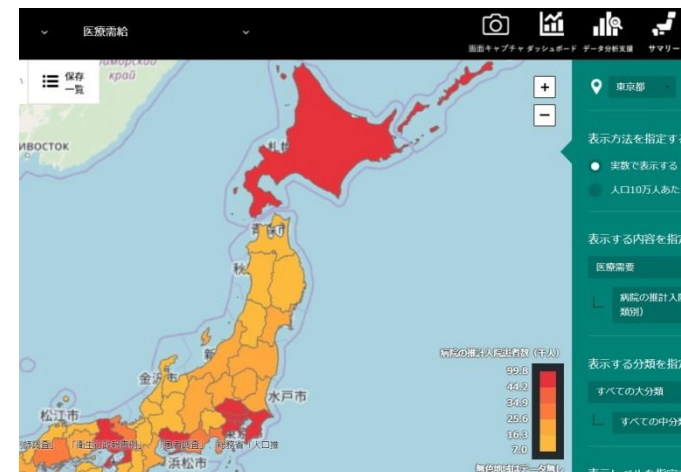
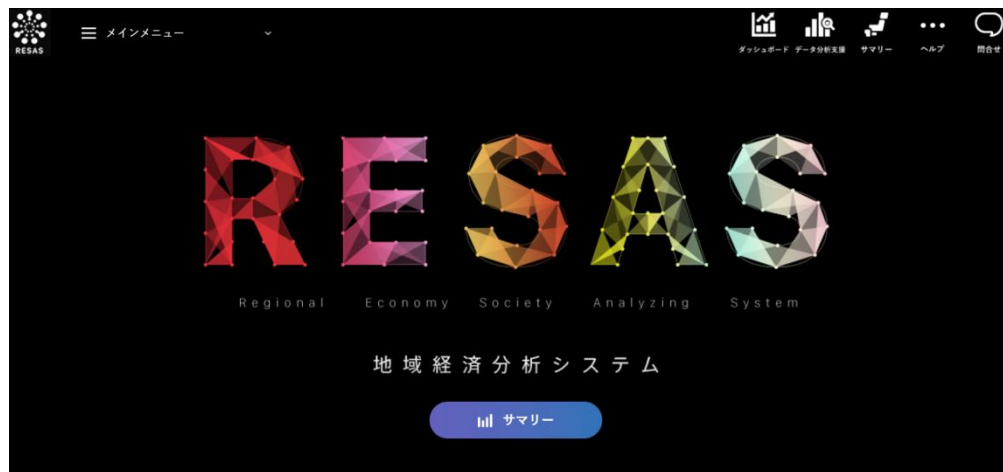


<文型 課題研究 I >

文系のための課題探究プログラム

～雇用/医療・福祉マップ^o 医療需給データの比較から課題設定の基礎を学ぼう～

第2時限



カリキュラム

1限目

1. オリエンテーション [10分]
2. 愛知県における医療の現状をRESASを使って調べてみる。 [15分]
3. データ分析演習・仮説設定演習 (ワーク2、ワーク3前半) [20分]
4. ふりかえり・次回の内容について [5分]

3限目 (予定)

1. オリエンテーション・e-stat 起動 [5分]
2. e-statを使って豊田市に関する [40分]
3. 振り返り [5分]

2限目

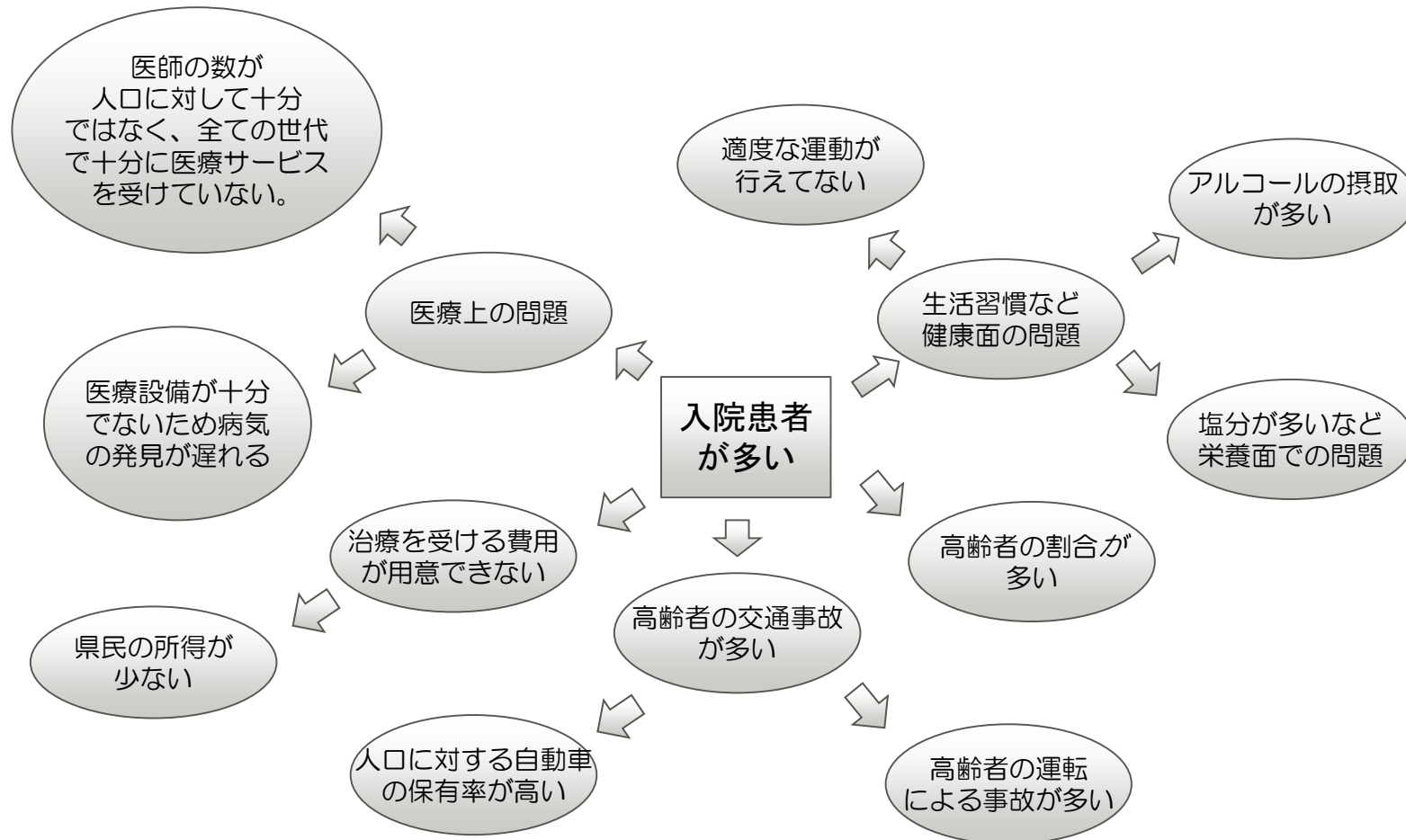
1. オリエンテーション・RESAS起動 [5分]
2. 仮説・調査・考察演習 (ワーク3 後半) ペアワーク・討議 [15分]
3. 発表 (ワーク2 後半) [15分]
4. 豊田市に関する課題研究 [10分]

ワーク3（前回の振り返り）

前回の最後のテーマは・・・

「高知県は人口当たりの入院者数がなぜ他の都道府県に比べて多いのか？」

- 1 キーワードマッピングを使って、原因を考える
→ ワークシート③
- 2 キーワードマッピングで得られたアイデアの中から、原因として考えられるものを取り上げる。
→ ワークシート④



ワーク4 : キーワードマッピングの内容をまとめよう (グループワーク5分)

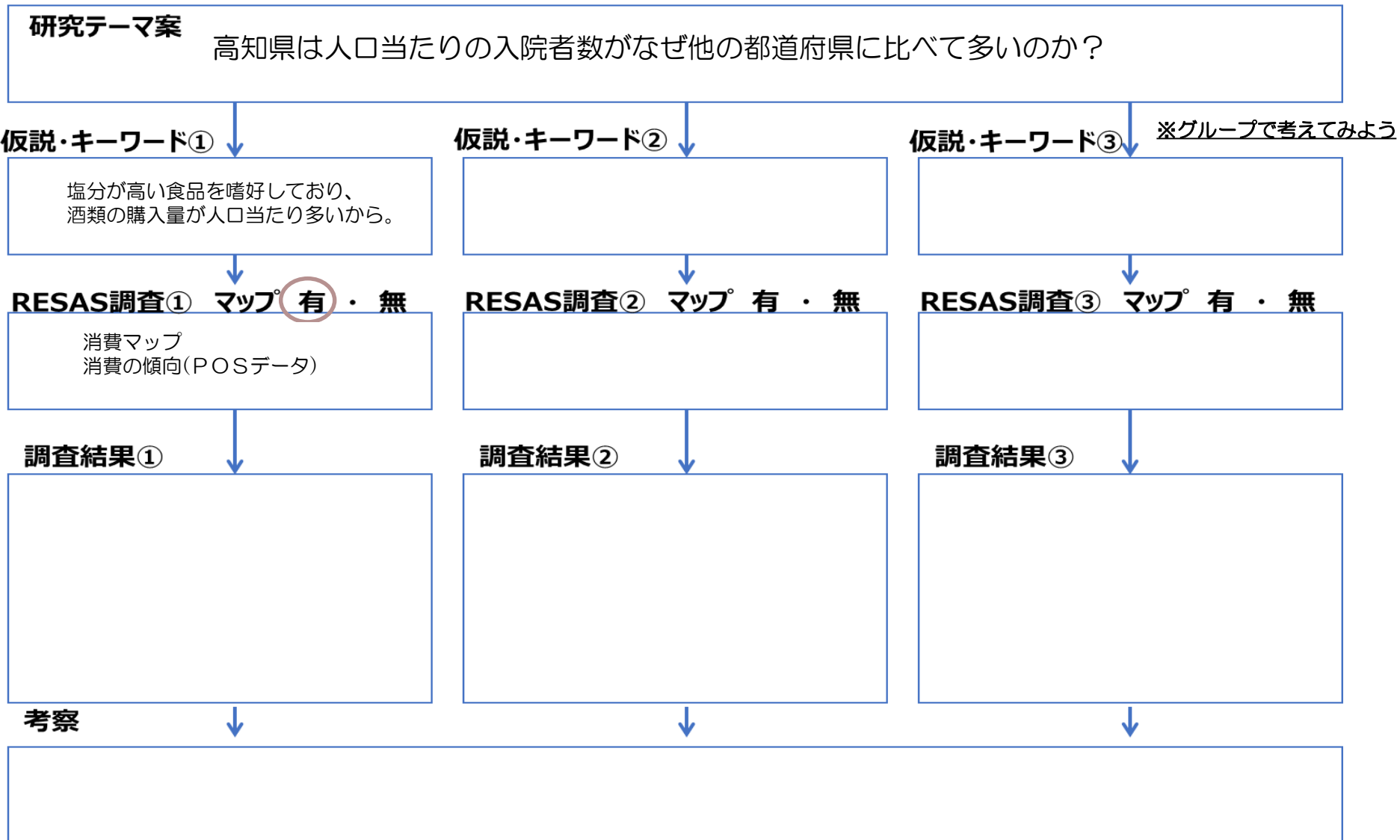
キーワードマッピングから原因として考えられる	比較・調査できるデータ、統計資料
例 : 塩分が高い食品を嗜好する、酒類の購入量が人口当たり多い。食生活に問題がある。	消費マップ 消費の傾向(POSデータ)

ワーク3（後半）

ワークシート⑤を使って・・・

1. 考えられる原因について、仮説設定をおこなう
2. リーサス中に仮説について調べるサイトがあるか確認する
（他の統計サイトを使用しても、構いません）
3. 立てた仮説について、リーサスなど統計サイトを使って調査を行う。
4. 得られた調査結果から、仮説との比較を行う。

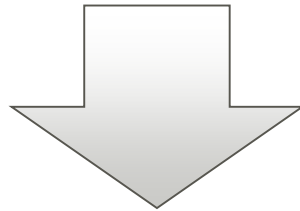
設定された課題（テーマ）から、統計データを使って調査・考察をしてみよう



考察を行う（課題研究メソッド P.123～）

1. 得られた結果と仮説を比較する

（2. 必要であれば新たな問いを立てて調査を行う）



3. 得られた結果から、リサーチクエスチョンに対する
より**説得力のある**根拠を引き出す

※一般論と事実を用いて、結論を導き出す（三段論法）

※得られた事実の共通点に着目して結論を導く（帰納法）

発表

7～8人のグループになって、
ワークシート⑤の内容をお互い
に発表しよう。

豊田市と関連した 課題研究について



を利用して豊田市が
抱える課題について考えよう。

ワーク4（豊田市市民意識調査より）

以下の内容について、豊田市の街づくりに関する施策について、実施を期待する順番をつけて下さい。

予想 結果

- A 犯罪に対して、安心・安全な街づくり
- B 出産・子育てがしやすい街づくり
- C 必要な医療が受けられる街づくり
- D 利用しやすい公共交通が整う街づくり
- E 高齢者が安心して暮らせる街づくり
- F 商業地に魅力と賑わいのある街づくり

ワーク4（豊田市市民意識調査より）

以下の内容について、豊田市の街づくりに関する施策について、実施を期待する順番をつけて下さい。

予想 結果

A 犯罪に対して、安心・安全な街づくり	4位
B 出産・子育てがしやすい街づくり	5位
C 必要な医療が受けられる街づくり	3位
D 利用しやすい公共交通が整う街づくり	1位
E 高齢者が安心して暮らせる街づくり	2位
F 商業地に魅力と賑わいのある街づくり	6位